

共生を目指して 豊かな自然の 最先端のモノづくりと

West Mikawa

岡崎市、刈谷市、豊田市、安城市、知立市、みよし市、幸田町

西三河生態系ネットワーク協議会は、2011年(平成23年)3月24日に設立され、33団体(2021年(令和3年)12月現在)が活動しています。ものづくり県・愛知をけん引する多くの工場・事業所が立地するエリアですが、事業所敷地内の緑地等を生きものが生息しやすい環境に改善するなど、自然との共生を目指して、様々な取り組みを行っています。

協議会テーマ 最先端のものづくりと最先端のエコロジーが好循環する暮らしを目指して



ソニーの森「フクロウの住む森づくり」

モノづくりの中心地における環境面への取組

西三河は、里山や田園といった多様性に富んだ環境を持ちつつ、国内有数の産業集積地でもあります。西三河生態系ネットワーク協議会では、工場敷地内の既存の緑地を改善して生きものが生息しやすい環境をつくり、新たに生きものの生息に適した森や草地水辺を創出したりする企業の取り組みを支援するとともにその活動を周辺地域に広げる取り組みを行っています。

長きに渡って世界をリードしてきた先進技術のものづくりへの活用、環境負荷の低減に向けた取組を通じて、今後ものづくり産業の中心地として様々な環境面への取組を進めていきます。



地域在来種の苗木の里親募集

企業、地域住民、行政が一体となって取り組む

同協議会では、これまで「ソニーの森」で採れる在来種樹木の種子からコープあいち組合員や地域住民が苗木を育て、公園等に移植する活動や、乙川源流域にある天使の森(岡崎市公有林)において、現状未利用人工林から在来種主体の自然林に戻すため、植樹用地の伐採整備や植樹を行う等の活動を行っています。また、外来種の駆除活動(刈谷市、岡崎市)、ビオトープ整備(刈谷市、豊田市)等で街中に生きものを呼び込み、市街地の自然の質を高める活動や、高速道路と一体的に自然を保全・再生し、生態系ネットワーク間のつながりを強化する活動など、企業、地域住民、行政などが一体となって、環境保全活動に取り組んでいます。



「山と海」の繋がりを学ぶ 青空教室(「天使の森」山頂にて)

地球的視野に立ち地域に合わせた生態系維持を

経済発展と環境保全の両立は、ものづくりの盛んなこの地域にとっても大きな課題です。持続的な生態系の保全と、環境的な質の高さを維持しつつ、その上で地域のモノづくり産業がさらに発展して行くような地域社会の構築を目指していきたくと考えます。

企業の環境取り組みは、これまでCSR(企業が取り組む社会貢献活動)からCSV(企業が取り組む社会と共有の価値創造活動)への転換が迫られています。すなわち、企業活動のあらゆる場面での環境負荷軽減はもちろん、本業を通していかに環境に貢献していくかが重要となっています。さらに地球的視野に立った環境取り組みと、地域に合わせた生態系維持の両立が求められていると考えます。



フクロウ (ソニーの森)

ハッチョウトンボ

ツマグロキチョウ

シラタマホシクサ

地域の生態系

フクロウ、ツマグロキチョウ、ハッチョウトンボ、シラタマホシクサ、コナラ、アベマキ、スギ、ヒノキ、モウソウチク



市民による植樹活動



いきもの調査の様子

〈おもな活動〉

- ・在来種の苗木育成・植樹プロジェクト
・ビオトープ等整備事業(工場内、周辺)
・外来種駆除事業
・普及啓発事業(シンポジウム・ワークショップ)

【構成団体一覧】33団体

〈大学等 6〉

中部大学、名古屋大学、愛知学泉大学、愛知工業大学、愛知教育大学、人間環境大学

〈企業等 7〉

トヨタ自動車(株)、中日本高速道路(株)、ソニーグローバルマニュファクチャリング&オペレーションズ(株)幸田サイト、生活協同組合コープあいち、(株)三五、トヨタ車体(株)、愛三工業(株)

〈NPO等 10〉

(NPO)アースワーカーエナジー、(NPO)みよしの自然環境を守る会、ビオトープ・ネットワーク中部、(一社)いきものの森再生機構、国際ロータリー第2760地区、(NPO)愛知生物調査会、(公財)日本野鳥の会、(NPO)日本ビオトープ協会、琴平ふくろう谷の会、S&Sクリエイト

〈農林漁業団体 2〉

あいち豊田農業協同組合、豊田森林組合

〈行政機関 8〉

岡崎市、刈谷市、豊田市、安城市、知立市、みよし市、幸田町、愛知県